

アートによる 地域振興助成

現代アートのもつメッセージ性を軸としながら、
地域住民や行政と協働し、その土地の独自性を生かした
地域文化の振興に資する事業を助成対象としています。
日本国内におけるアートプロジェクトの
立ち上げと継続的発展を目的として助成をしています。

公募に関する
最新情報や、
採択団体の様子など
Instagramで

／発信中／



助成事業 募集

2026年度から
萌芽的な事業への応援も重視しつつ、
事業のフェーズをより意識した
募集区分・支援にまいります。

対象事業

日本国内で実施される事業で、以下の要件を満たすもの

- 現代アートに代表される新しい表現方法を用いた事業であること
- 歴史・地理・風土・民俗など、地域資源を活かした事業であること
- 地域の振興・発展に資する事業であること
- 地域住民と協働で行っている事業であること
- 継続性かつ発展性のある事業であること
- 営利を目的としない事業であること

※個人の作品の展示など、個人的な活動は対象外です。

対象者

個人・非営利団体(営利団体でも非営利事業であれば可)、
当財団において適当と認める団体・機関

助成金額

1件あたり上限300万円

2つの公募プログラムとそれぞれで重視するポイント

※下記区分けに当財団の助成実績の有無は問いません。

申請される事業の活動年数により、区分が異なります。

公募プログラム ① スタートアップ申請

申請する事業を開始して概ね3年未満の団体・個人

- ポイント
- 1 当財団は、民間助成団体の特性を活かし、地域で行われている最前線の活動や萌芽的な事業を応援していきたいと考えています。
 - 2 立ち上げ間もない事業やスタートアップの事業にみられる、挑戦的な試みを評価します。
 - 3 事業の立ち上がりの渦中にありながら、中長期的に地域が良くなっていく可能性がある事業かどうかを重視いたします。

公募プログラム ② 一般申請

申請する事業を開始して概ね3年以上の団体・個人

- ポイント
- 1 事業をより継続・発展させていくために、これまでの活動が積み重なり、次の展開が見えてきているかどうかを見ます。
 - 2 事業を継続・発展するための意思があり、計画や組織体制に反映する見通しがあるかどうかを重視します。

共通ポイント

- ポイント
- 1 地域課題を捉え、地域課題の解決に向かうために、アートを用いた創造性に富んだ方法論を持ち、地域の様々なステークホルダーと関係性を築き、地域へインパクトを与えられる事業内容であるかを重視いたします。
 - 2 事業計画の実現性にリアリティがあり、実行していくための運営体制があるかを重視いたします。

例年の公募スケジュール

- 7月上旬 募集要項の公表
- 9月下旬 オンライン公募説明会
- 10月1日～31日 応募受付期間
- 12月上旬 1次選考(書類選考)
- 12月下旬 1次選考結果通知
- 1月下旬 2次選考(プレゼンテーション)
- 2月中旬 選考結果通知
(助成者内定通知)、諸手続き



募集要項、公募説明会の詳細は
ホームページにて公開中

様々なフォローアップで
事業の成長を応援します

福武財団の助成事業は、助成金にとどまらず、助成を受けた団体が互いに交流し、情報の共有や学びのプログラムから知見を獲得できるよう、様々な支援プログラムを実施しております。

フォローアップの例

- | | |
|---------|---|
| 事業訪問 | 財団職員と選考委員が活動現場を訪問、活動のお悩みをお聞きしながら、各団体の状況に応じたフィードバックを行います。 |
| ミニ情報共有会 | 助成年度や助成プログラムに関わらず、助成対象者の同士の交流を目的としたミーティングです。テーマについてオンラインで意見交換をする場として開催しております。 |
| 助成団体研修会 | 様々な活動者との交流から活動に対してのモチベーション向上に繋がる場として開催しております。 |
| 広報支援 | 皆様の活動情報を財団HPやSNSに掲載し、情報を拡散します。 |

過去の採択事業



2025年度採択

- 事業名／Art and Tidal Flats
- 団体名／Art and Tidal Flats
- 代表者名／榎原 泰介
- 活動地域／千葉県木更津市畔戸
小櫃川河口干潟一帯

東京湾に残る自然干潟。そこには潮の満ち引きで現れる前浜と広大な葦原があります。様々な由来で生息する植物や生物に出会える所であり、製鉄所やアクアライン、霞の向こうの富士山や高層ビルを背景にして、かつて浮世絵にも描かれた原風景に繋がっています。アートを通じてこの干潟への関心を高め、風景や環境の保全に寄与することを目的に、場に関係する制作や公開、ワークショップ等を行います。

※すべての採択事業はウェブページよりご覧いただけます

公益財団法人 福武財団

「よく生きる(=Benesse)」

文化、芸術によって、活力あふれた、個性豊かな地域社会の発展に貢献します。
福武財団は、日本の近代化の流れの中で行われてきた破壊と創造の繰り返しを見直し、「在るものを活かし、無いものを創る」を信条に、人々がよりよく生きる地域をつくること、お年寄りの笑顔が素晴らしい地域をつくることを目指し活動しています。

お問い合わせ先

公益財団法人 福武財団 助成事業担当
〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7
Tel: 087-892-2550 / Mail: mail@fukutake-grant.jp

facebook

